【京都開催】国際シンポジウム「海外から見た近世日本の教育遺産群」

R5年11月19日（日） 開催
国際シンポジウム「海外から見た近世日本の教育遺産群」
International Symposium
”Educational Heritage of Early Modern Japan From International Perspectives”
オンライン視聴 On-line ＊11/19 13:00～ 公開 Public release

開催趣旨
「近世日本の教育遺産群」は、足利学校（足利市）、閑谷学校（備前市）、咸宜園・豆田町（日田市）、弘道館・偕楽園（水戸市）で構成される遺産群です。
近世日本では、教壇や机を定置せず、畳や板張りの部屋を教室とするなど、同時代の世界とは異なる空間や設備の中で、世界に類を見ない階層を超えた教育が行われていました。
協議会では、こうした遺産群を後世に伝え、その歴史的意義を世界と共有するため、世界遺産登録に向けた取組を推進しています。
本シンポジウムでは、海外から見た遺産群について、教育史と世界遺産学に精通する国内外の専門家が一堂に会し、国際的な観点から、遺産群の普遍的価値を議論します。

概要
◇ 日時：令和５（2023）年11月19日（日） 13:00-16:00 12:30開場
◇ 現地会場：ホテルオークラ京都（要申込、定員100名）
◇ オンライン視聴：申込不要、後追い視聴OK

◇ 参加：無料
◇ 主催：教育遺産世界遺産登録推進協議会
◇
共催：水戸市/足利市/備前市/日田市/水戸市教育委員会/足利市教育委員会/備前市教育委員会/日田市教育委員会
◇
後援：文化庁/日本イコモス国内委員会/京都市/茨城県/栃木県/岡山県/大分県/茨城県教育委員会/栃木県教育委員会/岡山県教育委員会/大分県教育委員会/水戸商工会議所/足利商工会議所/備前商工会議所/日田商工会議所
プログラム
13:00 開会あいさつ 水戸市長 高橋 靖（教育遺産世界遺産登録推進協議会会長）
13:15
基調講演１「海外から見た近世日本の教育遺産群」マーガレット・メール（コペンハーゲン大学教授）
14:00
基調講演２「世界遺産としての教育遺産～近世日本の教育遺産群～」ディヌ・ブンバル（ヘリテージモントリオール政策部長）
15:00 パネルディスカッション
コーディネーター：橋本 昭彦（日本女子大学学術研究員）
パネリスト：マーガレット・メール
ディヌ・ブンバル
江面 嗣人（岡山理科大学特担教授）
大石 学（東京学芸大学名誉教授）
岡田 保良（国士舘大学名誉教授）
・16:00 閉会あいさつ 足利市長 早川尚秀（教育遺産世界遺産登録推進協議会副会長）

2023年9月1日 より申込開始しました
現地参加方法
◇ ネットでの申込
いばらき電子申請・届出サービスから申し込み下さい。
https://apply.e-tumo.jp/city-mito-ibaraki-u/offer/offerList_detail?tempSeq=43739

◇ はがき申込
参加者全員の氏名、年齢、住所、電話番号を記入のうえ郵送して下さい。

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com